

科目名	神経内科学			授業の種類	講義	講師名		
授業回数	15回	時間数	30時間 (1単位)	配当学年・時期	作業療法士科2年	前期	必修・選択	必修
【授業の目的・ねらい】								
<p>神経内科学分野における代表的な疾患特に、作業療法の対象者に見られる疾患について、疾患概念、病態、症状、検査所見、治療等について理解でき、作業療法士として臨床に応用するために必要な知識と考え方を身につけることを目的とする。</p>								
【授業全体の内容の概要】								
<p>神経疾患による障害に対して作業療法を行うためには、疾患に関する十分な知識を持つことが必要になる。 この授業では、まず、多くの神経疾患で見られる神経症候の中でもリハビリテーションの対象となる神経症候について学習し、その後、作業療法の対象となる神経疾患について学習する。</p>								
【講師の実務経験】								
<p>作業療法士として、順心リハビリテーション病院、介護老人保健施設夢前白寿苑にて、身体障害領域・老年期領域のリハビリテーションに従事経験。 or 回復期・維持期の身体機能に関するリハビリテーションに従事。</p>								
【授業終了時の達成課題(到達目標)】								
<p>代表的な神経内科系の疾患、特に作業療法の対象者に多くみられる疾患の疾患概念、病態、症状、検査所見、治療等について理解できる。</p>								
回数	講義内容							
1	中枢神経系・末梢神経系の解剖と機能							
2	神経学的診断と評価、神経学的検査法							
3	神経症候学:意識障害、脳死、植物状態、頭痛、めまい、失神							
4	神経症候学:運動麻痺、錐体路徴候、筋萎縮							
5	神経症候学:錐体外路徴候、不随意運動							
6	神経症候学:運動失調、感覚障害							
7	神経症候学:嚥下障害、高次脳機能障害							
8	神経症候学:高次脳機能障害							
9	疾患各論:脳血管障害							
10	疾患各論:脳腫瘍、外傷性脳損傷							
11	疾患各論:変性疾患、脱髄疾患							
12	疾患各論:錐体外路の変性疾患							
13	疾患各論:筋疾患							
14	疾患各論:感染性疾患、栄養素欠乏による神経疾患							
15	復習							
	定期筆記試験							
【準備学習・時間外学習】								
【使用テキスト】								
書籍名			著者名			出版社		
標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 神経内科学第5版			川平和美編			医学書院		
【単位認定の方法及び基準(試験やレポート評価基準など)】								
<p>小テストと期末試験の総合得点で評価する</p>								